

## 地域づくり活動 NPO 事業助成（先導的・先駆的）事業 実績報告

団体名	特定非営利活動法人 場とつながりの研究センター	代表者名	理事長 長谷川 計二
事業名	在住外国人の孤立を防ぎ、仲間づくりができる場づくりプロジェクト		

### <事業実施実績>

年 月 日	活 動 内 容
2021年4月 ～2022年3月 毎週水曜日	生活に必要な日本語を日本語ボランティアと学びあうとともに、暮らしにまつわる相談なども行う。 場所：北神区文化センター会議室4・5
2021年4月 ～2022年3月 毎週水曜日	会議 日本語ボランティア全員と活動の振り返りや情報共有を行う。
7月28日（水曜日）	日本語成果発表と交流会 学んだ日本語を通して働いている様子や母文化の紹介などした。
9月29日（水曜日）	日本語ボランティアのブラッシュアップ研修①（2時間） NPO法人実用日本語教育推進協会野村登美子先生による日本語教授法と知識を学ぶ研修を実施。
3月16日（水曜日）	日本語ボランティアのブラッシュアップ研修②（2時間） 一般財団法人ダイバーシティ研究所代表理事田村太郎さんによる地域日本語教室の在り方や目まぐるしく変化する在住外国人を取り巻く状況などの研修を実施。

### <効果と成果>

私たちの活動は、県民外国人への「日本語支援」という考え方ではなく、地域に暮らす同じ住民としての課題として「在住外国人県民の日本語」があるという考えで活動を行っています。ゴミの出し方や分別、子育てに関する様々なこと（保育園の入園に関する書類記入や入園式の服装等）、悩みを抱える前に地域に暮らす日本人から日本語教室を通して、「ちょっと教えてもらっていいですか」と聞ける関係を構築することが大きな目的です。孤立状態である家族が日本語教室を通して同胞人と出会い、家族ぐるみで付き合うケースも出てきています。

また、外国人だからといって、日本に暮らすことであまり変わることはありません。ただ外国人ということで、日本語が話せない「言葉の壁」、自分の気持ちを言えないことや、差別やハラスメントの標的になる「心の壁」そして、様々な日本社会にある「制度の壁」に阻まれしんどい思いをしている実情もあります。それを教室で日本語ボランティアさんが話しを聞いてくださり、相談機関につないだりしながら、地域で解決できることを寄り添い解決し、次にやってくる外国人を暮らしの面でサポートしてもらえる地域人材も創りだしています。

<収支決算書>

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動 NPO 事業助成金	500,000
参加費	115,000
自己資金	52,141
合計	667,141

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直接 経 費	人件費	184,317	147,319
	謝金	62,975	62,975
	旅費交通費	166,540	47,140
	その他 (会場費、図書費等)	253,309	242,566
	小 計	667,141	500,000
間接経費 (一般管理費)		0	0
合 計		667,141	500,000